

市原市立中央図書館

ふるさと市原に輝く人物コーナー「石川倉次」展特別企画

参加
無料

バリアフリー教室

2016.8.24 (水)

13:30 ~ 15:30



バリアフリー教室って？

つえ

みなさんは、町で白い杖をついて歩いている人をみかけたことはありますか？

つえ つか

白い杖を使っている人は、目が見えなかったり見えにくかったりする人です。

しかく しょう

く

視覚に障がいのある人たちはどのようにして暮らしているか、知っていますか？

つえ

バリアフリー教室では、アイマスクをして白い杖を使ってじっさいに歩いてみた

しかく しょう

く

り、視覚に障がいのある人とお話ししたりして、みんなが暮らしやすい町はどのようなものか、みんなで考える教室です。

なにをするの？

たいけん

つえ つか

としょかん

1 アイマスク体験…目かくしをして白い杖を使って、図書館のなかを歩いてみるよ。上手に歩けるかな？

しかく しょう

たいわ しかく しょう

2 視覚に障がいがある方との対話…視覚に障がいのある人とお話しします。いろいろな質問に答えてくれますよ。

たいけん しかく しょう

くふう しょうかい

3 やさしさ体験…視覚に障がいのある人へ、くらしやすい工夫を紹介します。

いしかわくらじ かんしょう じっさい びじゅつさくひん

4 「14の石川倉次」の鑑賞…実際に美術作品をさわられるよ。

保護者の方へ

市原市立中央図書館では、「市原市バリアフリーワーキング市民グループ」の協力を得て、バリアフリー教室を開催します。この機会にお子さんと体験し、みんなが暮らしやすい町を考えてみませんか。

体験内容

1 アイマスク体験

アイマスクをして歩く人とガイドする人とで、二人一組になって行ないます。アイマスク等で目をかくし、視覚に障がいがある状況の中歩いてみることで、視覚に障がいがある方の気持ちを理解します。またどのようにアテンド（誘導）したらよいかを学ぶことができます。

2 視覚に障がいがある方との対話

実際に視覚に障がいのある方と対話することで、より深く障がいのある人の暮らしや思いを理解することができます。

3 やさしさ体験

牛乳パックなど、わたしたちの生活の中にある、視覚に障がいのある方にも使いやすい工夫を学びます。

4 「14の石川倉次」の鑑賞

「14の石川倉次」という胸像作品を、実際に手で触れ、作品を鑑賞します。

募集開始：8月2日（火）から受付 定員になり次第締め切り

会場：市原市立中央図書館 2階 視聴覚ホール

対象：小学3年生以上中学3年生まで 保護者同伴可

人数：50名

申込方法：電話か窓口で申し込み 電話 0436-23-4946

持ち物：バンダナか和手ぬぐい（アイマスクの代わりに使用します）

市原市立中央図書館 電話 0436-23-4946

協力 市原市バリアフリーワーキング市民グループ